

報 道 資 料

年月日 平成29年 9月27日（水）
担当課 学校教育課
担当者 義務教育係 垣内 宏志
丹下 博幸
T E L 直通 0742-27-9854 内線 5364

（タイトル）

テレビ会議システムを活用した遠隔合同授業の公開について

（趣 旨）

本県では、児童が考えの幅を広げる機会が少ない等の少人数学級のデメリットの改善を図るため、平成27年度から国の委託を受けて、学校同士をテレビ会議システムでつなぎ、合同で授業を進める遠隔合同授業の研究を行ってきた。その研究成果を県内に周知するため、平成29年11月10日（金）に御杖村立御杖小学校において、曾爾村立曾爾小学校とテレビ会議システムでつなぎ遠隔合同授業を公開する。

なお、公開授業は、第61回奈良県へき地教育研究振興大会の分科会と併せて実施する。
会場等は、以下のとおりである。

会場 御杖村立御杖小学校（第61回奈良県へき地教育研究振興大会第1分科会場）
日程 平成29年11月10日（金）
9：00～ 9：45 公開授業（5年 国語科）

(別紙資料)

小規模校における協働学習を活性化するためのICT活用事業

学校教育課

1 趣旨

県内の小規模校と中規模以上の学校が連携を図り、タブレット端末等のICT機器を活用した協働学習や合同学習等を実施することにより、小規模校における学校教育の維持向上を図るとともに、指導方法の開発や教育効果の在り方などに関する実証研究を行う。

2 委託地域・小学校

①五條市（阪合部小―野原小）②曾爾村・御杖村（曾爾小―御杖小）③川上村・東吉野村（川上小―東吉野小）

3 小規模校における教育・学習上の課題

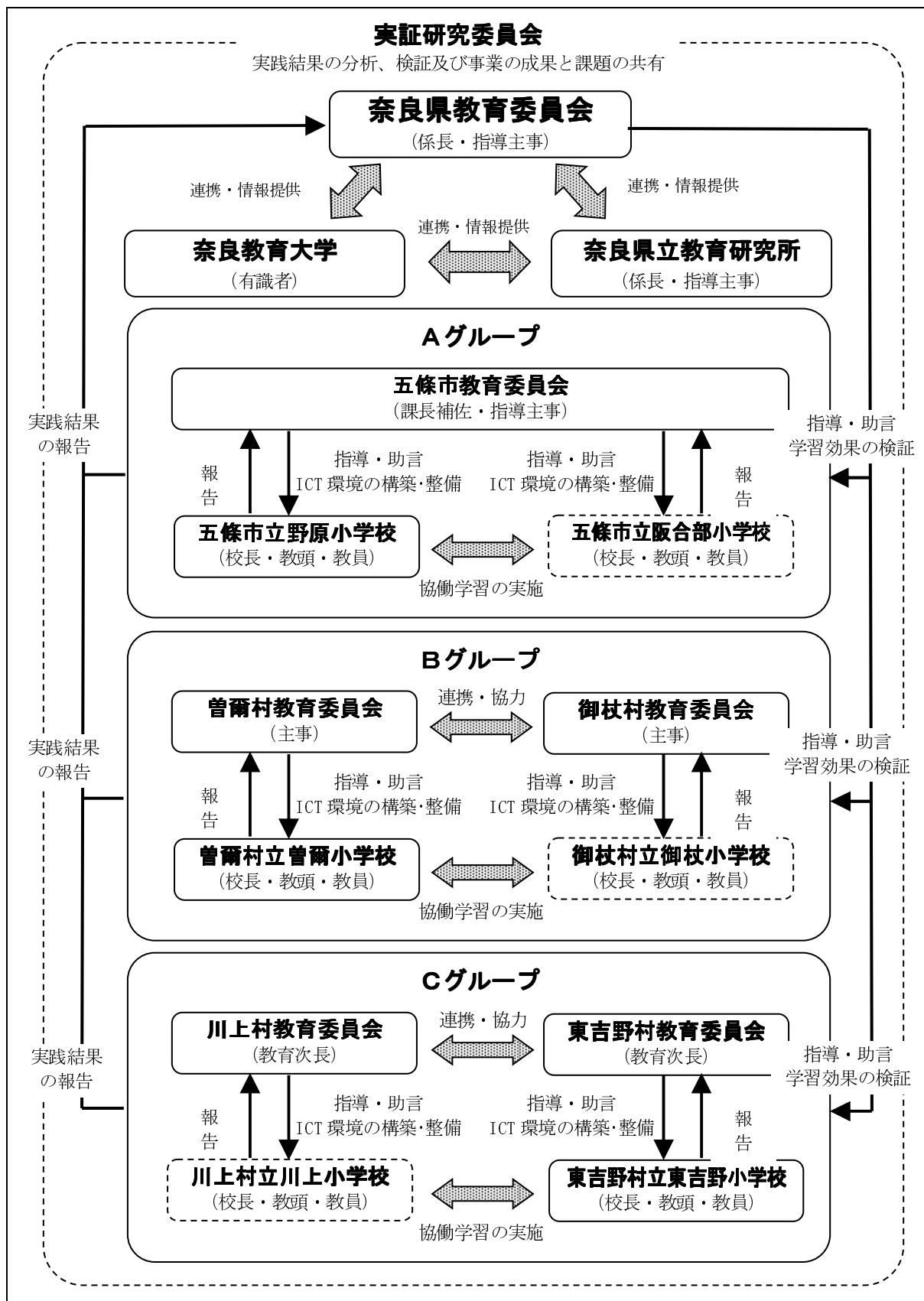
- 同学年や学級内の児童生徒数が少ないために、多様な考え方や意見を交流させる機会に乏しい。
- 小規模校では、児童生徒数が少ないために人間関係が固定し、コミュニケーションの幅が限られ、社会性を涵養する機会に乏しい。
- 同学年や学級内の児童生徒数が少ないために、教員への依頼心が強くなりがちで、互いに切磋琢磨する環境を作りにくい。

4 課題を解決するための具体的な取組

協働学習等により同学年の児童相互の言語活動を充実させ、各教科等で育成すべき思考力・判断力・表現力を児童がどれだけ身に付けることができたかを検証する。そのため、県教育委員会の各教科等担当指導主事が指導・助言の下、小規模校及び連携校が示す各教科等の年間指導計画の単元や題材のうち、どの場面でICTを用いた協働学習を行うことが最も効果的かを検討し、検証授業を実施する。

5 学習効果の検証方法

各教科等担当指導主事の指導・助言に基づき、検証授業実施教科において、協働学習によって身に付けるべき資質や能力を明確にするとともに、それらの資質や能力を客観的、定量的に測るための適切な評価方法（質問紙、ノート、ワークシート、ペーパーテスト等）を検討した上で、適切な評価方法に基づいて児童の変容を継続的に分析する。



7 システムネットワーク構成図

